

取組提案について（資料1抜粋）

	提案名
1	<u>仕分けの達人ゲーム</u>
	<p>わかりにくいごみの分別を楽しみながら学べるツールづくり （既存のごみ分別釣りゲームをアレンジ） イベントや環境教育の場、ごみ減量指導員の活動等を通じて、普及啓発に活用</p>
2	<u>啓発人形劇「フロンターレで毎日元気いっぱい!!推進事業」美化・リサイクル版</u>
	<p>人形劇団ひとみ座の人形劇で、ごみの分別・リサイクルの啓発 分別やリサイクルの意味、地域愛など、児童を対象に分かりやすく伝える。 修学前児童など子どもを対象としたイベント、子育てふれあいカフェなどで展開</p>
3	<u>区の木・花を活用した「きれいなまちづくり」の担い手育成</u>
	<p>区の木・花の周知・PR（例：プランターの配布・設置、樹木名プレートの設置） 公園樹木や花壇、街路樹等の管理団体の立上げ支援、担い手の育成の推進区内の既存の活動との連携、交流、ネットワーク化</p>
4	<u>「きれいなまちづくり活動」啓発看板の設置</u>
	<p>アンケート調査等で見出した地域の課題箇所、優良箇所に啓発看板を設置 模範的な地域やごみ集積所への課題解決の工夫等の掲示や維持する活動への支援デザインは 訴求力の高いものを検討（例：公募、フロンターレの選手起用など）</p>

検討テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」に資する課題解決提案

提案名：仕分けの達人ゲーム

■解決したい地域課題

- ごみの正しい分別方法（特にプラスチック製容器包装ごみ）や、分別や再資源化の効果（なぜ分別するのか）がわかりにくい。
- 分別意識の低い区民の存在

■課題解決の方向性

- 正しいごみの分別方法について、より多くの区民が楽しみながら学べる場、体験できる場の創出
- 子どもから、親・祖父母世代まで幅広く取り組めるようにする。

■取組内容

（１）仕分けの達人ゲームの制作

- ごみの正しい分別方法を楽しみながら、遊びながら学べるゲーム「仕分けの達人ゲーム（仮称）」を作成。環境局が市イベント等で活用している「ごみ分別ゲーム」を基本に、どうやって捨てるか迷うもの（乾電池・プラスチック容器包装など）を取り上げる。
- 中原区のキャラクター（例：なかはらエコ推進大使ロージーちゃん、区民会議キャラクターたぬきくん）のイラストを盛り込むなど、中原区らしく、親しみやすいツールとする。
- 子どもにも分かりやすいルールや形式、外国人にも分かる英語表記の併記などを心がけ、多くの区民が挑戦できるものとする。

（２）仕分けの達人ゲームの活用

- 区内のイベントや環境教育の場への出展で、来場者が親子で挑戦できる場を設けたり、ごみ減量指導員等による展開活動を行うことなどを通じて、ごみの正しい分別の普及・啓発に活用

■取組の推進・今後の課題

- ゲームのルールやしぐみ、ツールの形式等の検討、ゲームツールの制作・配布等の方法
※一定以上の成績を出した挑戦者に「認定書」の発行などを検討しても良い。
- 活用（展開）の場の検討
なかはら子ども未来フェスタ（10月）、子育てふれあいカフェ（第3・4期区民会議提案取組）、区民祭など（CC等々カエコ暮らしフェア、ごみ減量指導員による会合なども）
※将来的には小学校や幼稚園など教育の場での活用も視野に入れる。
- 目標値の設定…ゲーム挑戦者の延べ人数や、認定書の発行数など

■取組の担い手

制作／区民会議委員・有志区民と、行政（局・区）の協働
活用／各イベントの実行主体、ごみ減量指導員等との連携を図る。

■取組スケジュール（案）

【平成27年度】

- ①仕分け達人ゲームのルールやしぐみといった形式等の検討、試作版の制作
- ②区内イベントへの出展等による試行実施・検証→改善（秋頃のイベントの場を目標とする）

【平成28年度以降】

- ①ゲームツールの完成、制作
- ②区内イベントや環境教育の場での活用による普及啓発

〔ごみ分別ゲーム〕

【概要】 中原生活環境事業所では、環境教育の一環として区内小学校での出前講座を実施し、ごみ収集車のスケルトン車を利用したごみ収集の仕組みや、ごみの分別について分別ゲームを授業として、実施しています。各小学校では、みんなが楽しみながら、ごみのことについて学習しています。



まず、前に置いてあるごみを分別してみます。



分別してみて、分別を間違っものや、分かりにくいものについて、学びます。



検討テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」に資する課題解決提案

提案名：啓発人形劇「フロンターレで毎日元気いっぱい!!推進事業」美化・リサイクル版

■解決したい地域課題

- ごみの正しい分別方法（特にプラスチック製容器包装など）や、分別や再資源化の効果（なぜ分別するのか）がわかりにくい
- 分別意識の低い区民の存在

■課題解決の方向性

- 児童福祉施設や教育施設と連携し、区の将来を担う子ども世代から、ごみ分別やまちの美化への関心、習慣化を喚起する。
- 子どもにも分かりやすく、親しみやすく、記憶に残りやすい人形劇形式をとることで、より定着を図るとともに、親世代への波及効果もねらう。

■取組内容

区提案事業の仕組みを活用した事業の実施

- 生活習慣（歯磨き等）をテーマに区提案事業で実績のある「フロンターレで毎日元気いっぱい!!推進事業」の「美化・リサイクル版」として展開。（区民会議提案事業としてもアピール）
- 分別の理由やリサイクルの効果、「まちがきれいだとみんなが嬉しい」などのメッセージを伝える。
- 区内在住の幼児への幅広い展開を図り、小学校入学を控えた年長児の集まるイベントの場で展開（市民館）を予定

■取組の推進・今後の課題

- 人形劇で最も伝えたいメッセージ、脚本等の作成（区民会議からの目標・要望を伝える。）
- 活用（展開）の場の検討
平成 27 年度は全 8 回の公演を計画しているが、未決定の回あり。
※なかはら子ども未来フェスタ、子育てふれあいカフェなどでの実施案
※将来的には回数の増加、さらなる展開等も検討
- 目標値の設定…公演回数や観客動員数

■取組の担い手

【平成 27 年度予定】

人形劇団ひとみ座の協力とともに、川崎フロンターレ中原アシストクラブが主体となって区市民提案型事業に申請中。

■取組スケジュール（案）

【平成 26 年度中】

- ①区民会議による脚本等への要望事項の整理→関係者への伝達
- ②区民会議としてのバックアップ方法の検討（広報支援や、未決定の回の展開方法等）

【平成 27 年度以降】

区市民提案型事業としての実施（区民会議提案事業としてもアピール）

〔市民提案型事業（平成26年度）川崎フロンターレ中原アシストクラブ実施〕

啓発人形劇「フロンターレで毎日元気いっぱい!!推進事業」

【概要】川崎フロンターレのチームマスコットを利用した人形劇や同チームの応援歌をアレンジした曲を活用して、区内公立保育園において、歯磨き指導を実施。



歯科衛生士による指導



キャラクターの人形を活用



応援歌をアレンジして楽しく



提案名：区の木・花を活用した「きれいなまちづくり」の担い手育成

■解決したい地域課題

- 地域の環境保護や維持、コミュニティづくり等に取り組む既存の活動の認知度の向上や、互いのノウハウの共有
- 地域の活動の担い手の高齢化、固定化など

■課題解決の方向性

- 「きれいなまちづくり」を幅広く捉えて、既存の地域活動の広報支援、交流・ネットワーク化による活動の推進、活性化を図る。
- 区内の企業、団体等も含めて、地域活動の新たな担い手発掘や、新しいノウハウの獲得、他団体との連携・協働による活動のマンパワーの向上

■取組内容

区の木・区の花の認知度の向上

- 区の花「パンジー」に続き、区の木「モモ」を活用した区内の自然資源や地域活動のPR
例（要検討）：ニヶ領用水沿いのハナモモなど、区の木のある場所への樹木名プレートの設置、「きれいなまちづくり活動アンケート」で見出した、地域の優良箇所や課題箇所へのパンジーのプランターの設置など。

地域活動の認知度向上、担い手発掘

- 活動団体のPR・周知を目的とした情報発信
- 相互の活動の体験や情報交流の場の創出
- 公園や花壇、街路樹等を維持管理する区民の団体の立上げ支援、担い手育成の推進
※公園緑地管理運営協議会、愛護会などの制度の活用
※地元の事業者や企業など新たな担い手の参加等も働きかける。

■取組の推進・今後の課題

- 活動支援、情報発信、連携推進の対象となる団体の情報の収集（アンケート調査結果など）
- 情報発信の媒体、メディアなどの検討、情報の編集（冊子・区HP・区民会議だより他）
- 連携・情報交換等の場の設定…相互の活動体験、世代交流の場など
- 目標値の設定…樹木名プレートやプランターの設置数、情報紹介・連携団体数など

■取組の担い手

既存の活動団体と行政（区）の連携・協働

■取組スケジュール（案）

【平成26年度末～平成27年度前半】

- ①「きれいなまちづくり活動」アンケート調査の実施・結果分析→支援や連携の対象団体の選出
- ②支援、連携・情報交換、情報発信等の手法の検討・企画、区内団体への周知・働きかけ

【平成27年度後半】

支援、連携・情報交換、情報発信等の実施、新たな担い手の発掘

〔区の木・区の花の認知度向上〕

区の花パンジー



中原区は平成10年1月21日、区制25年を記念して、区民の皆さんの投票により「パンジー」を区の花に定めています。

区の木「モモ」（3月1日制定予定）



市制90周年を記念して「区の木」の募集を行い、区民の皆さんの投票結果を踏まえ、中原区区の木制定委員会での審議を経て平成26年10月10日に「モモ」に決定しました。
平成27年3月1日に区の木「モモ」を制定する予定です。

〔地域活動の認知度向上、担い手発掘〕

〔参考〕

	団体名	概要	平成26年4月現在数	
1	公園緑地愛護会	公園及び緑道緑地の除草、清掃等の美化活動や公園施設の保全を自発的に行う団体を「愛護会」として設立し、市が報奨金を活動に対して交付。	団体数 23、公園数 27	活動を通じて地域緑化の推進と公共施設への愛護心の普及向上を企図
2	管理運営協議会	公園緑地愛護会から地域の地元で新たに組織する管理運営協議会へと移行が進められている。 公園の除草、清掃、ごみ処理、樹木の下枝落とし、低木の刈込などを実施。利用については、一部、道路公園センターを介さず、協議会で利用調整を行う。	団体数 58、公園数 83	身近な公園等を「地域の庭」としてより柔軟に活用してもらうことを企図
3	街路樹等愛護会	街路樹、グリーンベルトの保護及び育成、その周辺の除草、清掃等の活動を自発的に行う団体を「愛護会」として設立し、市が報奨金を活動に対して交付。	団体数 29、街路樹ブロック数 105	活動を通じて都市の美化の推進と公共施設への愛護心の普及向上を企図

検討テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」に資する課題解決提案

提案名：「きれいなまちづくり活動」啓発看板などの設置

■解決したい地域課題

- 地域の環境保護や維持、コミュニティづくり等に取り組む既存の活動の認知度の向上、互いのノウハウの共有
- 優秀、優良な地域、地域活動の顕彰、「きれいなまちづくり活動」の啓発

■課題解決の方向性

- 地域の課題箇所、優良箇所をより広く、積極的に周知することで環境の改善や維持等への区民の意識を啓発する。郷土愛、地域の課題は地域で解決する意識の醸成を図る。

■取組内容

地域の課題箇所・優良箇所の抽出

- 「きれいなまちづくり活動」アンケート調査の実施結果に基づく、地域の課題箇所・優良資源及びその理由や背景等の抽出、分析
- 見出した箇所の維持や改善の方法等の検討

啓発看板の制作・設置

- 啓発看板のデザイン、掲載内容等の検討
 - ※「きれいなまちづくり」の明記、公募デザイン、フロンターレ選手やひとみ座の人形などの活用による訴求力の高い、中原区らしい啓発看板デザインを検討。
 - ※「区民会議」の表記も添える。
- 啓発看板の制作・設置

■取組の推進・今後の課題

- 地域の課題箇所・優良資源の選出及びその方法の検討
- 啓発看板の素材、設置場所、設置方法等の検討
- 目標値の設定

■取組の担い手

ごみ減量指導委員や美化活動グループ等との連携と行政（局・区）との協働

■取組スケジュール（案）

【平成 26 年度末～平成 27 年度前半】

- ①「きれいなまちづくり活動」アンケート調査の結果分析→地域の課題箇所や優良資源の抽出
- ②啓発看板のデザイン・掲載内容等の検討開始

【平成 27 年度後半～平成 28 年度】

- ①デザイン・掲載内容等（公募等も検討）、啓発看板の素材、設置場所、設置方法等の検討
- ②計画に基づき、設置

※看板の素材や制作量等により、地域ごとに何年かに分けて、設置エリアの拡大が想定される。

[啓発看板の制作・設置]

[参考]

第4期川崎区区民会議の提案による取組

審議テーマ「地域で身近な防災力」からの“海拔表示板の設置”

区内全域の町内会・自治会の掲示板などに「海拔」と「浸水深（大地震発生の際に津波の最高到達点と想定されている高さ）」を記載した表示板の設置

取組状況として、アクリル製のプレートが作成され、町内会・自治会の掲示板等を中心に、平成25年度から順次設置されています。[第4期川崎区区民会議だより第19号より抜粋]

(イメージ)



(川崎区内／町内会・自治会掲示板一例)

※川崎区より



町内会の掲示板に設置されています。

[参考]

中原区内ごみ集積所の掲示例

※板倉委員長・提供

